

東北大会ニュース

—NO. 4—

—TOHOKU—B6



9/26～9/27

開催

<全国身体障害者施設協議会>

第46回全国研究大会東北大会



公式X (旧Twitter)



山形県



宮城県



福島県



青森県



岩手県



秋田県

【東北ブロック身障協・シンボルマーク】

TOHOKU-B6(six)



シンボルマークの意味

1. 太陽・月・人と人・笑顔・支え合う姿・相互関係・東北6県(6つの太陽フレア)をイメージしている。
2. 支え合う姿、相互関係は正しく「ケア」の本質で「ケア」に携わる仕事に相應しい。相互関係は常に入れ替わりながら関係を作り上げていくもの。一方的な関係ではない。すなわち人と人が手を取り合い、調和し共に生きる社会を示している。
3. 太陽も月も人々にとって不可欠のもの。太陽は昼、月は夜にすべての人々(障害の有無に関係なく)を平等に照らし、相互補完(それぞれに役割をもって)しあっている。太陽は熱き心、明るさをイメージさせ、生命の根源である。月は闇夜で足元を照らす道をイメージさせる。明るい時(良い時)も暗い時(悪い時)もそれぞれが役割を持ち照らすイメージ。

(事務局から)

第46回全国身体障害者施設協議会研究大会に向け1年以上前から始まった準備期間もあっという間に過ぎ、まもなく本番を迎えようとしております。そのような中、8月20日には大会本番に向けて実行委員会、作業部会、応援員全体での合同シミュレーションを行いました。細かい点などたくさん詰めるところはありますが、参加される皆様が安心・安全に研究大会にご参加いただけるよう、救護や災害時対応等、実行委員事務局として準備を進めております。また能登へ応援メッセージを込めたスタンプラリーの準備もしております。皆様と一緒に一丸となって能登を応援できるような内容を考えておりますので、是非ご参加ください。お待ちしております。

研究大会参加者申し込み者数は1,022名(8月30日締め切り時点)となっております。全国の多くの方々にお申込みいただき、心より感謝申し上げます。気を付けて杜の都仙台までお越しください。皆様と同じ時間を共有できることを楽しみにしております。

（青森県）

今大会は東北全県で実行委員体制を行うという全国初の取り組みにより、東北全体で研修会を成功させたいという思いで準備しております。

8月20日の最終シミュレーションでは、発表担当系の座長10名中9名を含めた係員13名が研修会場で参加し、進行補助および会場係はWEBで参加しました。研修会場では発表会場の確認や集合時間・場所の確認を行い、当日に向けての検討事項等を再確認しております。

大会2日目は、実践発表7会場で各5組の計35発表と研究発表3会場で各2組の計6発表、合計41発表が行われます。前回の広報と繰り返しになりますが、発表者と共同作業された職員への慰労と感謝を込めて、ささやかな記念品を用意しております。全国各地でいろんな研修が行われておりますが、これだけ充実する研修会は類を見ないと考えております。各施設においてすぐに役立つ発表に出会える機会になると思いますので、ぜひ多くの職員の方々に参加していただきたくお願い申し上げます。



（秋田県）

いよいよ本番が近づいてきました。秋田県は、初日の開会式・表彰式等の準備をしてきましたが、現地での確認も大詰めとなり、準備が進んだのと一緒に、緊張感も高まりつつあるように感じてます。皆様方に「とても参考になった」「とても充実した機会だった」と思っていたけるよう、最後の追い込みに入ります。開催要項には記載されていませんが、「スタンプラリー」も企画中です（秋田県も含め、委員全員で準備してます）。素敵な記念品も準備しますので、是非皆様ご参加いただければと思います。それでは、当日お会いできることを心よりお待ちしております。



秋田県・んだッチ



青森県・いくべえ



（岩手県）

岩手県作業部会では、岩手県単独での感染対策や大会2日目のお弁当の準備に加え、宮城県作業部員の皆様と合同で、会場の安全対策や救急対応、会場設営、会場内誘導・案内、さらにトイレの使用方法やゴミ類の取り扱いなど、幅広い分野での担当を行っています。

8月20日に現地で行われた会議で大会2日目のお弁当の内容を決定しております。東北6県の食材を盛り込んでおりましたので、ほんのり各県を楽しめるかと思えます。お弁当の受け渡しに関しては混雑が予想されるため、スムーズな受け渡しを実現するための準備を進めておりますが、参加者の皆様にもご協力をお願い申し上げます。



（山形県）

山形県は受付、展示、販売の方の担当をしております。8月20日に最終リハーサルということで、実際に江陽グランドホテルに赴き、現物を確認し、現実を認識し、課題を抽出してきました。開催までの残りの期間、それを解決すべく係員内で協働して準備していきます。また、我々は、旅で初めて訪れる時の、「どんな景色、出会い、食べ物が待ち受けているのか」と高揚する気持ちを大事にさせていただきたく、受付時にまごころを込めた対応を行います！更には、旅から帰ってきて、新しく何かを始めたり、挑戦したくなるような気持ちが湧くように、展示、販売をしていただける企業様、事業所様と連携し、皆様により良い時間を過ごしていただけるように調整していきます。ぜひ、展示、販売ブースにお越しください！係員一同お待ちしております！



岩手県®わんこきょうだい



山形県・きてけろくん



（宮城県）

宮城県実行委員です。8月20日に東北ブロック加盟6県施設の係員の方に仙台にお集まりいただきシミュレーションを行い、来場頂いた方々の、受付からの全体会場誘導の連携の確認、初日の全体会終了後に、同じ会場で情報交換会を行うために皆様の案内誘導の確認等を行いました。また体調不良の方が出た際の救護室の現地確認等も行っております。また仙台駅から会場の江陽グランドホテルまでの誘導員の配置の確認を岩手県・宮城県担当で確認も行っております。いよいよ大会当日まで1か月となり、研究大会にお越しいただいた方々が安心して大会に参加されて、有意義な研修となるように東北6県で更に連携を深めて皆様をお待ちしております。気を付けて宮城県・仙台市に「来て下さい」（宮城の方言で来て下さいという意味です）。待ってっかんね（お待ちしておりますの方言です）」



（福島県）

大会初日夜の情報交換会では、参加する方々へのおもてなしとして、東北6県の名産、地酒を提供する屋台を設けるほか、東北各県を代表する祭りのキャラクターやシンボルの物をあしらった箸袋を準備しております。

一方アトラクションは、「仙台・青葉まつり」など様々なまつりやイベントで披露されている「仙台すずめ踊り」を地元舞踊団体「伊達の舞」の方々にご披露頂きます。また、東北絆祭りの映像（青森県：ねぶた祭り 秋田県：秋田竿灯まつり 岩手県：さんさ踊り 宮城県：七夕まつり 山形県：花笠まつり 福島県：わらじまつり）をスクリーンに映しながら、その映像に合わせ各まつりの説明を行う予定となっており、東北の夏まつりの雰囲気を感じて頂ければと考えております。

以上、おもてなしと趣向をこらした出し物で皆様をお待ちしておりますので、どうぞお楽しみください。

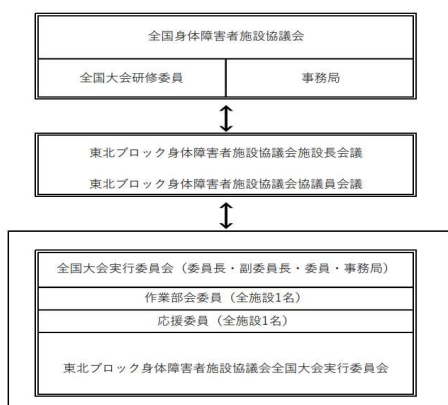


宮城県・むすび丸



キビタン©福島県

<体制>



お問い合わせ

022-281-1200

Email: arimama@beach.ocn.ne.jp
http://www.touhoku-b-shinsyokyo.com/

公式 X



東北ブロックHP

